

鈴鹿の風

すずかのかぜ

オンライン診断、電子カルテ、AI

院長 久留 聡

VOL.
45

独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院広報誌



新任者の紹介
新規採用職員・転入職員紹介
名誉院長の部屋「看護学校雑感」



オンライン診療、電子カルテ、AI

独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院 久留 聡



最近オンライン診療が実用化し普及が進みつつあります。以前から、対面受診が難しい患者様に対してICT技術を用いた遠隔診療は一部で試みられていましたが、新型コロナウイルス感染拡大により一気に広がる気配です。当院も準備を始める必要がありそうです。わたくし自身は、あまりコンピューター関係は得意な方ではありません。しかしながら、平成に入ってから大学を卒業した世代ですので言い訳はできません。紙カルテが電子カルテになり、インターネットが普及し、スマホが日常生活には欠かせなくなるなど凄まじい勢いで技術革新が進んでいます。ブラインドタッチでキーボードを超スピードで操作する若手を羨ましがっている場合ではないようです。当院では2014年に電子カルテを導入しましたが、昨年初めての更新を行いました。確

かに便利にはなったのですが、当然できるであろうと考えていた操作が実はできないといったことも多く不満やストレスが溜りがちです。こちらが機械を使っているはずなのに、何か機械に使われているような感覚が常にあります。電カルへの不満は何も当院に限ったことではありません。ベンダーやSEには常に要望しているのですが、もっと使い勝手の良い電子カルテにしたいと考えています。きっと遠くない将来に一般医療の現場にも間違いなくAIが導入されることになると思われます。一部の医療機関では画像読影などの分野で既に使われ始めています。医者は情報を集める下働きで、その情報を元にAIが診断や治療方針の決定を行うようになるのでしょうか？身近な例で言うと、将棋の世界ではすでにAIが活躍していて、テレ

ビやインターネットの棋戦中継では、今どちらが有利なのかが表示され、次の予想手が示されることが多くなりました。ただ解説者がAIの予想手に対して「この手は人間では指せません」とコメントすることがあります。今までの棋士（当然人間）の常識を逸脱しているのでしょうか。また、それが果たして最善手かという点、藤井聡太ぐらいの天才であれば時に「AI超えの一手」を指すこともあるようです。そもそもAIを作ったのは人間であり、AIが出した結果を解釈し採用するかどうか判断するのもやはり人間です。AIを上手く使いこなして医学・医療を発展させていきたいものです。ただ、いかにコンピューターの技術が進んでも、当院では常に人間味のある温かい医療の提供を心がける所存ですのでよりしくお願いいたします。

新任者の紹介



ふじた はるみ
藤田 晴美

看護部長

4月より鈴鹿病院看護部長に就任いたしました、藤田晴美と申します。雪深い北陸で育ったせいか、春は特別な季節です。鈴鹿病院と満開の桜は、看護を目指した学生時代を思い出させてくれます。初めての患者様は、筋萎縮性側索硬化症で入院されている方でした。病気との人生を語ってくださる中で、自分なりに生きぬこうとされる姿を知り、【生きる】ということについてあらためて考え、看護とは何かを学んだ大切な出会いでした。鈴鹿病院に足を踏み入れたとき、その出会いを思い出しました。初心にかえり、患者様にとってその人らしい安心した生活が提供できるよう、職員とともに努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



かとう やすき
加藤 泰基

業務班長

このたび、厚生労働省東海北陸厚生局より赴任してまいりました、加藤と申します。前2つの勤務先が、国の行政機関及び国立研究開発法人でしたので、国立病院機構での勤務は5年ぶりとなります。また、鈴鹿病院での勤務も初めてとなります。一日でも早く業務に慣れ、鈴鹿病院の中に溶け込みたいところです。微力ではございますが、私なりに病院に貢献できるよう努力していく所存でございます。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



かつなが やすこ
勝永 泰子

診療棟
看護師長

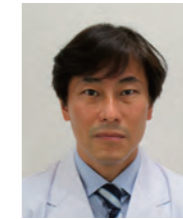
三重中央医療センターから転勤してきました。外来を担当させていただきます。三重中央医療センターでは、今はなき混合の西2病棟と脳神経外科、神経内科の病棟を経験しました。三重県に移り住み9年目になります。愛知県出身で、難病看護をしていました。久しぶりの慢性期看護ですが、がんばりますのでご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



おおにし
大西 ちひろ

栄養管理室
主任栄養士

令和4年度4月より榊原病院から鈴鹿病院に異動となりました。前任地の病院は、農地を見渡せる場所がありましたが、ここ鈴鹿病院周辺からは鈴鹿山脈が見渡すことが出来、風光明媚な地に居ることを実感しております。前任地では統合失調症、うつ病、アルコール依存症、摂食障害などの患者さんに携わってきました。一方でここ鈴鹿病院では神経難病、筋ジストロフィー、重度心身障害の患者さまの診療を行う病院とのことで、これまでとは異なる環境ではあります。しかし新しい場所で働けるチャンスを頂いたと思って、また新たな気持ちでいっから頑張っていきます。



いとう ひろたか
伊藤 洋貴

薬剤科長

岐阜県の長良医療センターから赴任してまいりました。自宅は長良医療センターから徒歩7分程のところであり、鈴鹿病院へはJRを乗り継いで2時間以上かけて通勤しています。周りから「大変だね」とよく言われますが、毎日が小旅行のようで電車からの景色、電車に乗っている個性的な人を見ながら楽しんでますので意外と快適です。五十肩、老眼、腰痛など体の老いをひしひしと感じる今日この頃ですが、安心・安全な薬物療法のため、微力ではありますが頑張りたと思いますので、よろしくお願いたします。



なかがみ もとみつ
中神 基充

専門職

4月より医事に配属されました専門職の中神です。職員みなさまと接する機会が多いと思います。お役に立てられるよう頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。



うめもと たくみ
梅本 卓己

東2階病棟
看護師長

4月1日付けで東2病棟の師長として赴任いたしました梅本卓己です。三重県立看護大学を卒業後、三重中央医療センターに就職し、17年間勤務させて頂きました。三重中央医療センターでは、救急、循環器、脳神経外科内科、呼吸器感染症病棟に勤務しました。重症心身障害者の方の看護については、経験もなく知識も少ないため今後学習を進めたいと考えています。併せて新任師長であるため、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、精進をスローガンに、スタッフの皆さんと協力しよりよい病棟運営を目指し精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。プライベートでは、2児の小学生の父親です。妻の支えもあり看護師という仕事を続けていけるため日々家族への感謝を忘れないように心がけています。趣味は旅行、ドライブと釣りになります。



ふくおか かずや
福岡 和也

契約係長

本年4月より三重病院から赴任して参りました福岡と申します。また、地元も三重県津市出身なので、鈴鹿市にも多少の知己があります。仕事では事務部に所属しており、契約等に携わる仕事をしております。そのため直接患者様に接する機会が少ないかと思われそうですが、医療職の方々が働きやすい環境を整えることによって患者様の治療のお役に立てればと思います。1日も早く鈴鹿病院の一員として業務に慣れて貢献できるように努力しますので、みなさまどうぞよろしくお願い致します。



鬼頭 大志

4月より赴任してまいりました。まだまだ不慣れなことも多く、ご迷惑をお掛けしますが、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



町野 香織

三重中央医療センターから異動して参りました。以前は緩和ケアに携わる事が、看護に活かす事ができるよう頑張りたいと思います。ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。



松田 優佳

重症心身障害児・者の病棟に配属されました。重症心身障害児・者の患者さんと関わることは初めてであり、緊張していますが楽しみも感じています。分からないことだらけですが精一杯がんばります。



坂井 美帆

これまで、外科・泌尿器科で勤務しておりました。患者様に不安を与えず、声をかけやすい環境を作るために、笑顔で明るく話すことを心がけてきました。転勤となり未経験分野ではありますが、患者様との日々のコミュニケーションを大切に、笑顔で常に心がけて頑張りたいと思います。



東條 真奈

精一杯努力致しますのでよろしくお願いいたします。



前田 玲於奈

初めまして、4月より薬剤科で勤務させていただきます前田玲於奈と申します。至らぬ点多いと思いますが、精一杯がんばります。よろしくお願いいたします。



丹鷲 康大

4月から新社会人となりました不安と緊張でいっぱいですが、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



吉村 拓海

患者さん、ご家族にとってここでの生活が少しでもよかったと思えるように、ここで関わる皆さんの言葉や気持ちを受け止めて、安全で安心できる支援を行えるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



西村 ひな

この度、児童指導員として働かせていただくことになりました。明るく元気いっぱい笑顔で患者様や御家族様と関わり、1日1日を大切に、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



山本 円来

入社して間もないですが、不安な気持ちが大きいです。職員の皆様にはご迷惑をおかけすると思いますが、沢山の知識と技術の一つずつ吸収し、一人前の検査技師となれるよう、精進していきます。



大田 綾伽

東1階病棟に配属となりました大田綾伽です。患者様1人ひとりの生活背景とニーズを理解し、自己決定の支援に努めていきたく思います。精一杯がんばりますのでよろしくお願いいたします。



大寄 由惟

患者さん一人ひとりに寄り添い、個性のある看護を行えるように、日々頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



川田 玲維

実習でご指導して頂き、当院に就職したいと思いました。社会人となり、不安な気持ちもありますが、ひとつひとつの行動に責任を持ち、丁寧な心がけていきたく思います。ご指導よろしくお願いいたします。



佐場 琴心

はじめての環境で緊張しますが、丁寧な看護をこころがけ、一生懸命がんばります。よろしくお願いいたします。



宅間 成美

春から鈴鹿病院の一員として迎えられたことは、心からの喜びでございます。緊張や不安はたくさんありますが、日々学び、ご指導のもと成長していきたいと考えています。これからよろしくお願いいたします。



辻 清夏

患者さん一人ひとりの思いに寄り添い、日々の小さな変化に気づき、それぞれのニーズに応えられる看護をしていきたいです。よろしくお願いいたします。



辻井 菜々

東2階病棟に配属になりました、辻井です。学生時代から希望していた慢性期病院で働けることがとても嬉しいです。日々励んでいきたいと思いますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



中村 真菜

この度、第1病棟に配属されました中村真菜です。患者様の1人1人の思いに共感し寄り添いのある看護を行うことが目標です。また、自分自身で発信する力を身につけたいと思います。よろしくお願いいたします。



西村 美紀

患者さんの思いに寄り添い個性のある看護を行いたいです。精一杯頑張っていきますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。



橋口 心

この度、第1病棟に配属されました橋口心です。患者様のQOLを大切に、生きがいをもって生活して頂けるような看護を行っていきたく思います。これからご指導のほど、よろしくお願いいたします。



平田 彩羽

日々、患者様に寄り添った看護を行うことで患者様やご家族の方に信頼していただける看護師になりたいです。精一杯頑張りますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。



宮木 りな

患者様に寄り添い笑顔を引き出せるような関わりをしていけるよう、今まで習ってきた知識を活かしながら頑張りたいです。よろしくお願いいたします。



森 瑞稀

ユマニテック看護助産専門学校から参りました。森瑞稀です。西2階病棟に配属されました。看護師としての技術など知識が浅い所もあると思いますが勉強して早く仕事が覚えられるよう頑張りたいと思います。



谷内 花衣

石川県から引っ越して来ました。看護師として働くのは初めてで緊張しますが、精一杯頑張るのでよろしくお願いいたします。



井上 稜大

昨年度は、三重中央医療センターに勤務していました。まだ不慣れですが、気軽に話せる心理士になれるように努力していきます。よろしくお願いいたします。



谷川 実優

はじめまして。今日からこちらでお世話になります、谷川実優と申します。どうぞよろしくお願いいたします。早く仕事を覚えて、皆様のお役に立てるように頑張ります。

新規採用職員 転入職員紹介



名誉院長の部屋

名誉院長 小長谷 正明

看護学校雑感

今年も外来診療棟脇の桜が満開になると同時に、新人職員が沢山やって来た。ナースはもちろん、薬剤や検査、臨床心理などのコメディカル、病院を支える事務職などと、様々な職種に亘っている。フレッシュはフレッシュなりに希望に燃えて臨床現場でスキルを磨き、医療職としての感性を育てていこうと、転勤や新たに入职した人は、今までの経験をこの病院のために活かしてくれるにちがいないと期待すること、この上なしである。

そう思いながら、病院の敷地をぐるりと廻って戻ると、その桜の下に権野副看護部長に引率されて新人ナースが沢山集まっている。遠巻きにして眺めていると、副さんに促され、僕も記念写真に入れて貰うことになった。心さんとか、りなさん、花衣さんなどと、いかにも若々しい名前の方に囲まれていると、新鮮なオーラをこちらが貰ったようで、つい嬉しくなってしまう。

数日後、今度はフレッシュ・ナースたちが揃って僕の部屋にやって来た。三重中央看護学校の卒業生もいて、一月に行った脳神経内科の国家試験直前講義が良かったと言ってくれた。100%だった今年の合格率にいくらかは貢献できたと思いい、誇らしくもなる。

国試試験対策の授業は、教官だった櫻井賀奈恵さん(現静岡医療センター附属看護学校教育主事)の依頼が始まりで、もう20年も続いている。彼女は、私が一病棟で神経難病を診ていた頃のスタッフだったので、壺を得た口説き落としてであった。その壺には、僕が美人に弱いことも入っていたにちがいない。ともあれ、毎年、

正月明けには看護師国試の過去問に首っ引きになり、自分の知識も再確認しながら準備をする。そして、国試必出の銀座通り分野は自律神経と脳神経だ、三三九度は結婚じゃない意識障害だ、頭から覚えろ、パーキンソン病はあれこれ、ALSは云々と、予備校の講師になったような口調でやっていく。今は理屈ではない、頭に叩き込めと。若い頃、「君は理詰めでサイエンティフィックだね、つまり、理屈っぽい。」とオーベンに言われたのが嘘のような、短絡的でプラクティカルな国試直前ゼミだ。

かつて、鈴鹿病院にも看護学校があった。最初に受け持たされた授業は英語で、アメリカ留学からの日も浅かったので、当時の飯田院長に言われたのだ。僕の英会話能力を知る子供たちは“Oh my God! Poor little Nurses!!”と叫んでいたが、なんとかなると、腹をくくって教え始めた。教科書は、アメリカの看護学生が、実習などで色々経験し、育てていく様子



を題材にしている。授業をしながら、なるほどナースはこういう視点で患者を看ているのかと、診断だ治療だと、切った張ったの医師の観点との違いが分かり、勉強になった。

生徒はすでに准看護師であり、一日おきに勤務しながら学校に通っている熱心な子たちで、真ん前の席で授業を受けているニコニコ顔もいた。英語は国試に無関係と、気楽にアメリカではDIYの自動車の組み立てキットが売られているなどと、日常生活の与太話などでアドリブしながら、“Come, come every body to the Suzuka National Hospital.”などと調子よくやっていた。中には、授業中に意識を消失する学生もいたが、きつと深夜勤務明けなんだと、うつらうつらの寝顔を心温かく見守ってやることにしていた。

が、教官たちに適任にあらずと思われたのかNative speakerに交替することになり、神経内科などを教えてくれと言われた。今度は国家試験に出てくる。あいまいな知識で適当にお茶を濁すと、まさに教育に悪い。嘘を教えたら、そのまま覚えてしまいそう。僕も初心に返って神経学を勉強し直して、噛んで含めるようにして学校で講義し、病棟で櫻井さんな

どのナースにレクチャーした。その時の努力の副産物として、レジメを基に岩波新書『神経内科』を発刊することができた。十万冊にもなり、あちこちで副読本にもなったらしい。

卒業シーズンには謝恩会があり、みんな別嬪だったんだと認識を新たにし、教官たちのラインダンスなどの余興も楽しんだが、平成14年3月に閉校になってしまった。病院長になる直前だったので、僕の学校存続への努力が足らなかったのではない。

それでも、卒業生たちは鈴鹿病院で勤務し続けており、Come, come every body のクラスは10人近くも入職してくれていた。病院長としての僕は、幹部看護師任用試験の合格や、看護師長などの内示を伝えるのが楽しみだった。彼女たちの顔を見ながら、国試合格で泣いていたネとか、喧嘩腰で学会抄録を一緒に考えたネとか、僕の試験はBコンだった、もうチョンボはするなとかと、心の中で呟いていた。

鈴鹿病院附属看護学校はなくなっても、今度は三重中央看護学校との関わり合いが出来た。来賓としての入学式や卒業式の国試対策講義と、出席だ。そして、何回かに一度は饞の祝辞を言うことになった。広い体育館一杯に卒業生を前に全校生徒が並び、父兄や来賓、職員を前に話すのはその都度緊張する。が、多少とも心に残るものをと、まさにない知恵を絞って原稿を書いたものだ。以下は、平成27年(2015年)の入学式での祝辞の一部である。

21期の皆さん、三重中央看護学校へのご入学、お目出とうございます。ひたすら入学試験に向かって勉強し、晴れのこの日を迎えて喜びも一入かと存じます。昨日の雨が上がった、まさに今日の陽気のようですね。

.....

さて、皆さん方にお目出とうと申したのは、看護学校入学にされたこと以外に、もう一つ意味があ

ります。それは看護職という、人に感謝される素晴らしい職業に志されたからです。医療に携わる者は自分のすべきことをきちんとすると、必ず患者さんから「ありがとう」感謝されます。私にも記憶があります。若いフレッシュな医者の方、ある男の子の治療を始めたら直ぐによくなって、拍子抜けしたくらいでした。が、お父さんは難病が心配で、その子の将来を深く心配していたのもので、僕に感謝され、面はゆく感じると同時に医者になって良かったと思ったものです。

看護師さんは、患者さんのベッドサイドに寄り添い、励ましながら医療を行い、最も患者さんとの関わり合いが濃厚です。それだけに、より一層、自然に「ありがとう」と言われる立場にあります。普通の職業では、この様に自分の仕事を行っていることだけで、当たり前のように相手から感謝の言葉

を受けることはありません。そして、「ありがとう」の言葉を受けると、自然に自分の仕事の達成感がわき上がるものです。それだけでも、よい職業だと言えます。そうですね、皆さん。

.....

ついこの間、外来のご意見箱に、僕への投書があった。何か悪いことをしてかしたのかなと心配になったが、違っていた。

「主人が入院しています。この病院にはただただ感謝しかありません。先生に通院しているときは親身になって頂いて、またスタッフの方にもお世話になりました。人生の中で、こんなに人の親切を感じたことはありません・・・」

これは、名誉院長にも、ナースにも関わった嬉しい投書だ。改めて何年か前の式辞を読み返し、やはり医療職はいいものだなと思った。



国立療養所鈴鹿病院附属看護学校謝恩会 H5.3.12 於 鈴鹿平安閣

主要人物名 職名は当時

- 前列 (左2人目) 筆者、(3) 多田紀久子総看護婦長、(4) 飯田光男院長、(6) 目秦賢子教育主事 (8) 山下成子教官
- 2列目 (1) 中井朱美・現神原病院看護師長
- 3列目 (1) 鈴木(岩田)和子・現当院師長、(2) 稲垣(細野)根子・現三重病院師長
- 5列目 (3) 櫻井賀奈恵実習指導者・現静岡医療センター教育主事、(8) 伊藤(四田)玲子・現西2病棟
- 6列目 (8) 山田八重子実習指導者・後当院副師長、(9) 林みどり実習指導者・後教官&当院師長
- 7列目 (3) 湯川すみれ実習指導者・後教官、(5) 村山伸江婦長

このクラスは多数の当院への入職者がいた。今なお、NHOで活躍している人も少なくない。

■ 外来診察担当表 (2022年5月1日現在)

	月	火	水	木	金
脳神経内科	小長谷	酒井	久留	小長谷	久留
	木村	南山			
内科	野口	野口	牧江	落合	
		落合			
小児科		予約			予約
整形外科		田中 (装具外来)			田中
リハビリテーション科		田中			田中
皮膚科		予約(午前)			予約(午後)
歯科	磯村(午前)	杉本(午後)		永田(午後)	
禁煙外来	野口			落合	

- 外来受付は8:30~11:00、診療開始は9:00~です。
- 歯科は身体障害者の方に限ります。
- 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします(あらかじめ電話予約のうえお越してください)。
- 小児科外来は担当医とご相談のうえ、ご予約ください。
- スギ花粉症でお悩みの方を対象に舌下免疫療法を実施しています。(月曜日)
- 土曜日、日曜日、祝祭日は休診です。

■ 交通案内

- JR「加佐登」駅より徒歩15分
- 東名阪「鈴鹿」I.C.より車15分
- 近鉄「平田町」駅よりタクシー15分
- 鈴鹿市西部地域コミュニティバス
椿・平田線「26加佐登神社」下車すぐ



編集後記

桜も散り少しずつ暑い季節となってきました。体調管理には気をつけて日々の業務に取り組んでいきます。

給与係 木全

独立行政法人国立病院機構 鈴鹿病院

〒513-8501 三重県鈴鹿市加佐登3丁目2番1号 Tel 059-378-1321(代) Fax 059-378-7083 <https://suzuka.hosp.go.jp>